

KINGRINDER

内部調整式 手挽きコーヒーミル

- 取扱説明書 -

K0/K1/K2



商品内容

• コーヒーミル



• ハンドル



• 輪ゴム

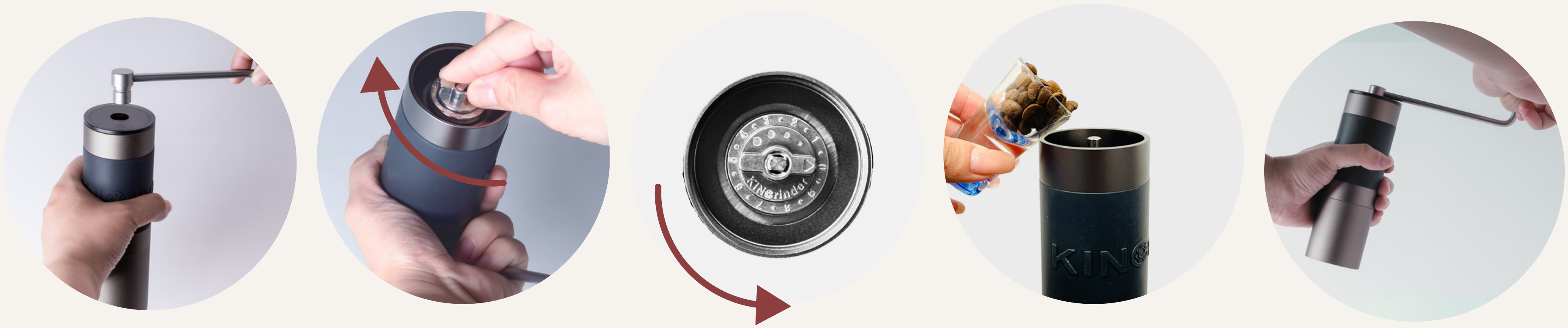


• ブラシ



使い方

- 1.粉受けを取り外し、ハンドルとキャップを取り付ける。
- 2.ハンドルを回転させないよう保持し、スピンドイヤルを時計回りに締めていく。**スピンドイヤルを締めすぎないでください。**これ以上回らない所、又はハンドルが回転できない状態で▲の指す数字が初期値（即ちゼロ）
製品の仕様上、初期値が数字の0に合っていない場合はございます。
- 3.スピンドイヤルを反時計回りに回し、粒度を調整する。
- 4.粉受けを取り付け、ハンドルとキャップを取外し、コーヒー豆をお入れください。
- 5.ハンドルとキャップを取り付け、挽き終わるまで時計回りに回転する。



挽き目の目安

淹れ方	K0	K1	K2
トルコ式	お薦めしません	20	20
エスプレッソ	お薦めしません	40	40
モカポット エアロプレス	60	60	60
ドリップ サイフォン	90~100	90~100	90~100
フレンチプレス	120~140	120~140	120~140

※単位：クリック。スピンドイヤル一周につき40クリック相当。
※参考までに；個人の好みに合わせてご調整ください。

分解と組み立て方法

- 1.粉受けを取り外し、ハンドルとキャップを取り付け、ハンドルを回転させないように保持し、スピンドダイヤルを反時計回りに回し続ける。
- 2.部品を順番に取り出す：スピンドダイヤル → 数字ダイヤル → 内刃 → バネ → ベアリング蓋。 **シャフトを取り出す必要はありません。**
- 3.掃除した後、部品を順番に装着：ベアリング蓋 → バネ → 内刃 → 数字ダイヤル → スピンドダイヤル。※ベアリング蓋はフラット面と突出面があり、突出面を本体に向かってお入れください。
- 4.内刃と数字ダイヤルを先に重ねてから、シャフトにお入れください。
- 5.ハンドルを回転させないように保持し、スピンドダイヤルを時計回りに締めていく。ゼロにリセットする。



注意事項

- **水洗いは禁止**です。または本体に向けて水をかけないでください。
- 定期的に分解してしっかり清掃し、間隔は30日を超えないようにしてください。
- 乾燥した場所に保管してください。
- 外刃や調整ナットを無理やりに外さないでください。
- **ゼロまたは15クリック以下**の状態です。ハンドルを回さないでください。
- 初めてご使用の際、商品の状態を確認するために、少量のコーヒー豆を入れ、挽いて捨ててください。
- コーヒー豆を挽くのに使用するものです。生豆やスパイス等にはご遠慮ください。
- 一度挽いた粉を**再びミルに入れないように**してください。微粉が部品の隙間に詰まらせ、分解できなくなる可能性があります。

ハンドルとキャップの使い方

- 指先で白輪ゴムを取り外してください。工具は使用しないでください。
輪ゴムが傷ついたり、破損したりする恐れがあります。
- 交換用の黒輪ゴムを、プラスチック製の蓋側面にある溝へ取り付けてください。
- ※白色と黒色の輪ゴムを**同時に**使用しないでください。2つを同時に装着すると、異常な研磨音が発生あります。

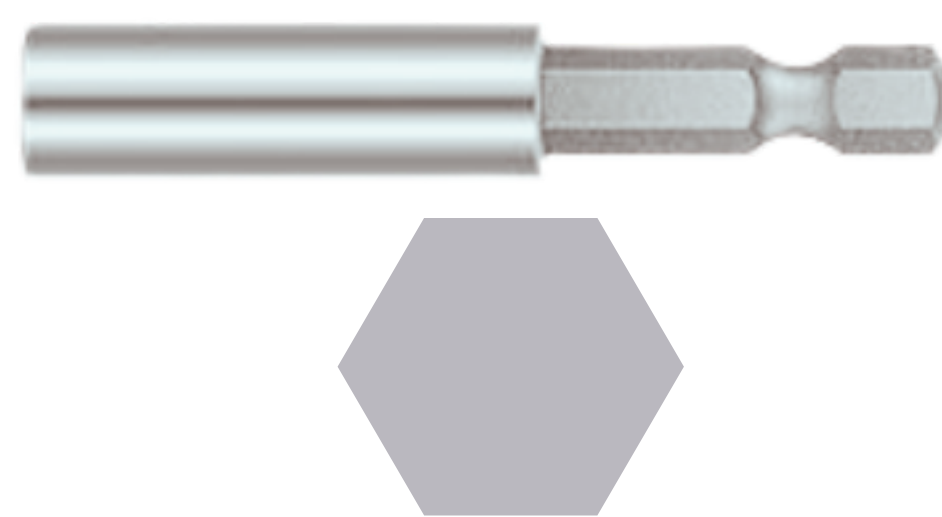


電動の使い方

必要なもの：



15～25N・m規格の電動ドライバー



6.35mm六角軸



黒輪ゴムを取り付けたキャップ
を用意



ミルをしっかりと握り、徐々に電源を
お入れください。スピードが**速すぎない**
ようにご注意ください。